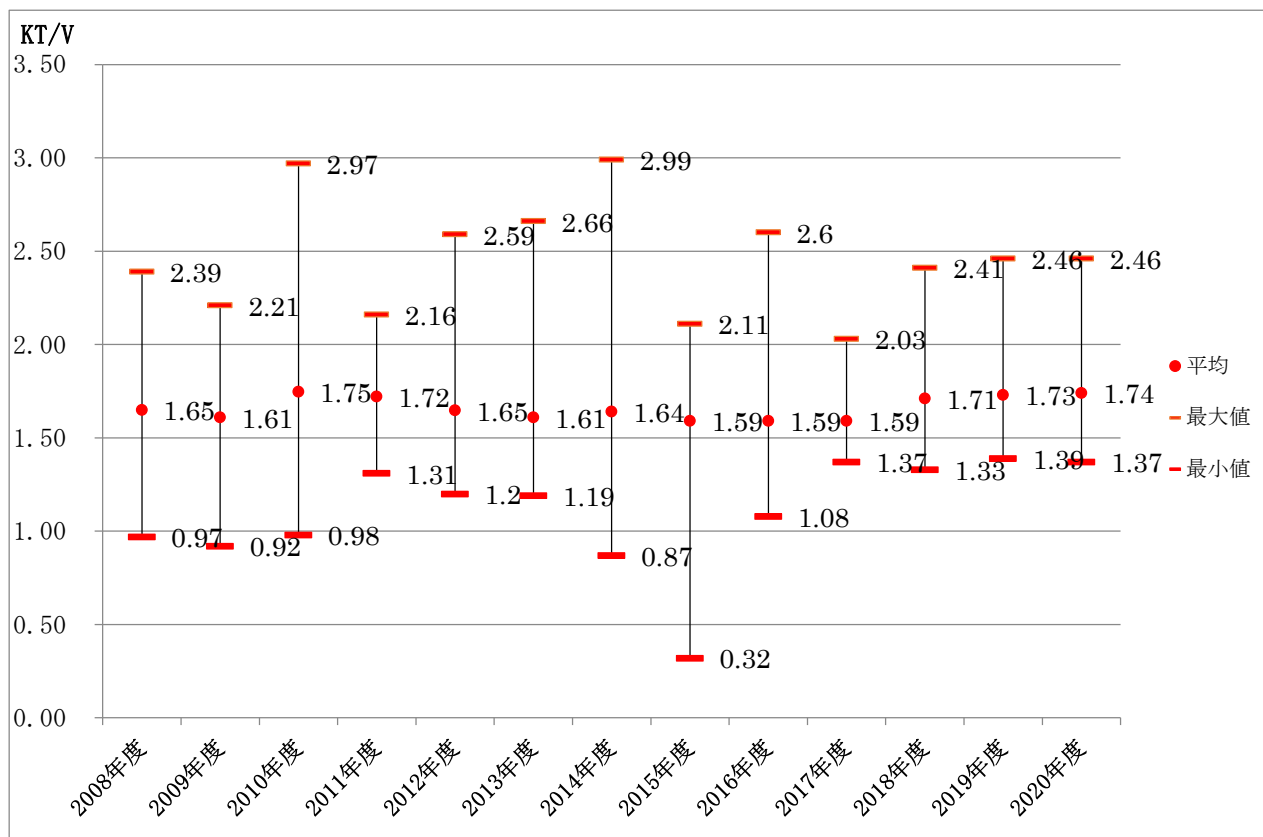


4 1. 維持透析患者の透析効率



日本透析医学会のガイドラインでは、最低限の尿素透析量として $Kt/V1.2$ が推奨され、目標とすべき尿素透析量としては $Kt/V1.4$ 以上が望ましいとされている。十分に高い Kt/V を維持することで、患者の生命予後のみならず、合併症予後も改善することが期待される。2020年度の当院の維持透析患者の Kt/V 平均値は1.74であり、高い透析効率を維持している。当院では毎月 Kt/V を算出し、1.4未満であった場合は血液流量、血液浄化器、透析時間等の透析条件を見直し、透析効率の向上に努めている。また、透析効率に関係する十分な血液流量を得るためのバスキュラーアクセス管理や、管理栄養士による食事指導においても積極的に取り組んでいる。今後、よりよい透析治療とするために、透析監視装置のモニタリング機能を活用していきたいと考えている。

データ提供 血液浄化センター